

第31回全国健康福祉祭とやま大会

～ねんりんピック富山2018～

◆東京都のシニア代表271名が健闘しました!◆

昭和63年から開催されている全国健康福祉祭(愛称:ねんりんピック)は、60歳以上のシニアだけが出場できる全国大会です。第31回を数える今年は、平成30年11月3日(土曜日)から同月6日(火曜日)まで、富山県内各地で開催されました。東京都からは、第22回シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO(平成29年10月から11月まで実施)上位入賞者164名、各競技団体主催の選考会上位入賞者や推薦選手107名の合計22種目271名の選手による選手団を結成し、出場しました。

総合開会式は、富山県総合運動公園陸上競技場(富山市)において執り行われました。入場行進では、北海道を先頭に、各都道府県・政令指定都市別にお国自慢のアピールをしながら、雄大な立山連峰を望める同競技場を、東京都選手団旗手 武士選手(ソフトテニス)を先頭に力強く行進しました。開会宣言に続き、炬火が入場し、2016年リオデジャネイロ・パラリンピックの車いすバスケットボール代表だった宮島徹也選手(29)ら3組の走者が炬火リレー。それを受け、高岡商業高出身で東京五輪に出場した元マラソン世界記録保持者の寺沢徹さん(83)が最終走者として炬火台に点火しました。

また、アトラクションでは、富山の海、川、里、山を、映像やダンス、伝統芸能で表現しました。特に、大魚を祈る厳冬の踊りや川の流れをイメージした優美な舞踊などに観客は魅了されました。

同月4日からの交流大会では、選手たちは日頃の練習成果を思う存分発揮されました。全国の同じ趣味を持つ仲間と切磋琢磨し、競技を通じて楽しく交流を行いました。その中で見事優勝の栄冠を手にしたのは、団体戦で、サッカー東京都シニアBチーム、将棋 東京都Aチームです。個人戦では、マラソンの橋本選手、水泳の田本選手、石橋選手、土屋選手、川上選手、細川選手です。また、準優勝に輝いたのは、団体戦では、ダンススポーツ東京都Aチームです。個人戦ではマラソンの伊藤選手、松田選手、水泳の吉田選手、土屋選手、嘉陽選手です。その他、第3位、優秀賞を含め、東京都選手団として、数多くの上位入賞を成し遂げました。

なお、次回、ねんりんピック紀の国わかやま2019(平成31年11月9日から同月12日まで)には、第23回シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO(平成30年10月から11月まで実施)の上位入賞者などが出場を予定しています。

第31回全国健康福祉祭とやま大会(ねんりんピック富山2018) 東京都選手団成績一覧

種 目	チーム名	成 績(出場区分)		選手氏名等(敬称略)
卓 球	東京都A	団体戦	優秀賞(1位グループ)	
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
テニス	東京都A	団体戦	ご健闘いただきました	
	東京都B	団体戦	優秀賞(2位グループ)	
ソフトテニス	東京都A	団体戦	優秀賞(1位グループ)	
	東京都B	団体戦	優秀賞(1位グループ)	
ソフトボール	小平シニアソフトボールクラブ	団体戦	ご健闘いただきました	
		－	高齢者賞	山岡 和明(85歳)
ゲートボール	秋川ウエスタン	団体戦	ご健闘いただきました	
	江戸川イーグルス	団体戦	ご健闘いただきました	
	東村山みすみ	団体戦	ご健闘いただきました	
	国分寺ケヤキ	団体戦	ご健闘いただきました	
	東京フレッシュ	団体戦	ご健闘いただきました	
	武蔵村山チーム	団体戦	ご健闘いただきました	
ペタンク	あらら	団体戦	ご健闘いただきました	
	深川ゴールド	団体戦	ご健闘いただきました	
ゴルフ	深川シャイン	団体戦	ご健闘いただきました	
	東京都	団体戦	ご健闘いただきました	
マラソン	東京都	個人戦	優秀賞(70歳以上の部)	林 瑞祥
		個人戦	優勝(3km男子 60～69歳の部)	橋本 勝行
		個人戦	優秀賞(5位・5km男子 60～69歳の部)	張替 鋼一
		個人戦	3位(5km女子 60～69歳の部)	半田 直子
		個人戦	優秀賞(4位・10km男子 60～69歳の部)	野口 岩夫
		個人戦	3位(10km女子 60～69歳の部)	高木 圭子
		個人戦	優秀賞(4位・10km女子 60～69歳の部)	室井 千秋
		個人戦	準優勝(3km男子 70歳以上の部)	伊藤 芳男
		個人戦	準優勝(3km女子 70歳以上の部)	松田 瑞江
弓 道	東京都A	団体戦	ご健闘いただきました	
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
剣 道	東京都A	－	高齢者賞	山中 一利(85歳)
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
水 泳	東京都	個人戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	準優勝(バタフライ 65～69歳 男 50m)	土屋 宏
		個人戦	優勝(自由形 60～64歳 女 50m)	田本 和子
		個人戦	優勝(平泳ぎ 60～64歳 女 50m)	石橋 早美
		個人戦	準優勝(平泳ぎ 60～64歳 女 50m)	吉田 京子
		個人戦	優勝(バタフライ 70～74歳 男 50m)	川上 日出秋
		個人戦	3位(自由形 60～64歳 女 25m)	田本 和子
		個人戦	準優勝(平泳ぎ 60～64 女 25m)	吉田 京子
		個人戦	優勝(バタフライ 65～69歳 男 25m)	土屋 宏
		個人戦	準優勝(バタフライ 65～69歳 女 25m)	嘉陽 ジャネット
		個人戦	優勝(背泳ぎ 80歳以上 男 25m)	細川 伯允
		個人戦	3位(背泳ぎ 80歳以上 男 50m)	細川 伯允
		団体戦	ご健闘いただきました	
グラウンド・ゴルフ	東京都A	個人戦	ご健闘いただきました	
	東京都B	個人戦	優秀賞(女性の部)	松本 さい子
ラグビーフットボール	ラグビーフットボール東京	団体戦	2戦2勝	
ボウリング	チーム東京	2人チーム戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	ご健闘いただきました	
サッカー		－	高齢者賞	大池 伴好(83歳)
	東京都A	団体戦	3位(Nブロック)	
ソフトバレーボール	東京都B	団体戦	優勝(Oブロック)	
	ZEAL	団体戦	優秀賞(2位グループ)	
ウォークラリー	東京下町小松菜チーム	団体戦	優秀賞(5位 立山コース)	
太極拳	チーム雄和	団体戦	ご健闘いただきました	
ダンススポーツ	東京都A	団体戦	準優勝	
		個人戦	優秀賞(5位 ラテンの部(ルンバ))	梅山 秀一・佐々木 賀子
	東京都B	団体戦	ご健闘いただきました	
囲 碁	東京都A	個人戦	ご健闘いただきました	
		団体戦	優秀賞(8位)	
		個人戦	優秀賞(つるぎ 男子)	栗田 茂
		個人戦	優秀賞(かもしか 男子)	左合 比登史
	東京都B	個人戦	優秀賞(さつき 女子)	要 政子
		団体戦	ご健闘いただきました	
将 棋	東京都A	個人戦	ご健闘いただきました	
	東京都B	団体戦	優 勝	
健康マージャン	東京都A	団体戦	優秀賞	
		団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	優秀賞(4ブロック)	小嶋 兼二
	東京都B	－	最高齢者賞	寺田 貢(90歳)
		団体戦	ご健闘いただきました	
		個人戦	ご健闘いただきました	

ねんりんピック感動記

本間 順さん ソフトテニス

細かくお世話をしてくださり、ありがとうございました。
初めてのねんりんピックでしたが、本当に楽しませていただきました。

私は、ねんりんピックといっても、試合に行く、という気持ちが強かったので、富山駅でたくさんの歓声と拍手の出迎えに驚き、嬉しく、急に楽しくなって、思わずハイタッチの列に並んでしまいました。

総合開会式は、とても盛大で、雪の立山連峰をバックに旗がなびき、炬火が燃え、まるで1枚の絵のようでした。

フィナーレで、金色の紙吹雪がキラキラ舞う中で、たくさんの地元の皆さんが360度一斉にスタンドの私達に向けて手を振り、“富山へようこそ！頑張ってください！”の気持ちを贈ってくれました。

一万人の選手団は、そのエールの中、退席しましたが、かなり時間がかかったのに、何度振り返っても、ずっとずっと手を振り続けてくれていました。それを見て、ああ、今ここが富山で一番心のこもったパワースポットになっているんだ！と感じた途端、涙が溢れました。私も、“ありがとう！”の気持ちを込めて、会場が見えなくなるまで、東京都選手団の赤いキャップを振り続けました。

ベアに、「何で泣いているの？」と聞かれましたが、形だけで終わらない温かさが嬉しくて仕方がありませんでした。

人は、人が人を思う心に感動します。「ねんりんピック富山大会」に参加できて、本当に幸せです。ありがとうございました。

でも、次は勝ちたいな！



小室 廣明さん テニス

いや～、素晴らしい開会式でした！

快晴のもと、雪化粧を始めた立山連峰の眺望やさまざまな競技の選手団1万人以上の入場行進、趣向を凝らしたアトラクションにおもてなし等、フェスティバル感の溢れる開会式でした。

「想像力豊かな」は「子ども」に係る枕詞ともいえますが、どっこい、年齢を重ねてきたシニア世代にも転寝(うたたね)しながら夢と現実のはざまをさまようという特技(!?)、もとい、経験と現実を融合させてより強い現実感を創り出すという“夢想力”があるのです。間近に迫った2020年の東京オリンピック。開会式の映像を目にした時に「ウン、ウン、わかる、グランドからスタジアムを眺めた時の景色や歓声、感動と高揚感！」と、より臨場感を伴って見入ることでしょう。気分はすっかり“オリンピック”です。

「ねんりんピック」は長崎大会に続いて二度目ですが、実は参加種目のテニスより開会式が一番の楽しみでした。開催県ごとに特徴のある演出はとても楽しく、豪華で素敵なエンターテインメントです。そして、期間中の楽しみ方にもちょっと工夫を。利用する交通手段をアレンジして、観光などの時間を多くとりました。

路面電車に乗って富山大学に行き、豊富なメニュー&リーズナブルな学食で美味しくランチ。帰りはブラブラ歩きながら、富山城公園や市役所展望台なども周りました。

開会式の夜は、メンバーの知り合いのついで穴場的な寿司割烹のお店でコース料理に舌鼓。(お酒は翌日の試合に備え、ほどほどにしてガマンです)

テニス交流大会では、接戦をものにして勝ち進み、優秀賞のメダルもいただきました。

最終日はカナルパークを散策して、美しいロケーションにあることで有名なカフェのテラス席でコーヒータム。それから閉会式を観覧。富山県出身の声楽家が歌う『少年時代』『ふるさとの空』、スクリーンに映し出される富山のふるさとの風景。それを眺めながら聴いているうちに、なんだか目頭が熱くなってしまいました。シニア世代にとって、子どもの頃の思い出は宝物。蘇る懐かしさに涙腺が刺激されたようです。でも、この涙は心地よいカタルシス。交流大会で昂った気持ちも静めてくれたように思います。

心もカラダもお腹も、そして観光も満喫できた「ねんりんピック」でした♪
ア～、また参加したいなあ～！



～次年度以降の
ねんりんピック
開催予定～

●2019年 第32回 和歌山県
●2020年 第33回 岐阜県
●2021年 第34回 神奈川県

●2022年 第35回 愛媛県
●2023年 第36回 鳥取県



弓道



ソフトボール



総合開会式



ベタング



サッカー



ウォークラリー



太極拳



剣道



ソフトバレーボール



ゴルフ



水泳



マラソン



卓球



ボウリング



ラグビーフットボール



健康マージャン



将棋



総合閉会式



テニス



ダンススポーツ



ゲートボール



囲碁



グランドゴルフ



ソフトテニス